

〈オール新潟〉=人だけでなく多様な地域、組織、職種も含めた連携

新潟大学医歯学総合病院 次世代医療人育成センター

次世代医療人 養成コース

新潟大学医学生 / 疾病予防、健康増進および介護予防活動に関心をもち医療系学生 / 総合診療医を目指す初期・後期研修医

医学科 プライマリコース

H26年度以降
5名/年

3年間

初期・後期研修医・大学院生
アドバンスドコース

H26年度以降
10名/年

5年間

- 医歯学連携、歯科衛生士、言語聴覚士等の連携による口腔ケア対策の学習(プライマリコース、アドバンスドコース)
- 口腔ケアチームへの帯同実習(プライマリコース)
- リハビリテーション科、理学療法士との連携による生活不活発病予防への対応(プライマリコース、アドバンスドコース)

地元自治体
住民

● 「健康ファイル」「連携ノート」などを通し「生活に寄り添い支える医療」の実践教育(アドバンスドコース)
● 「疾病・介護予防」「機能回復」をテーマとしたケーススタディなど展開(プライマリコース、アドバンスドコース)
● ICT(GIS等)を活用したソーシャルキャピタルに関する健康調査(プライマリコース)

佐渡プロジェクト
魚沼コホート
スタディ

● 学生時代からコホートスタディに関与することでリサーチマインドを醸成する(プライマリコース)
● 疫学リサーチを卒業後も継続し、大学院の社会人入学も可能とする(アドバンスドコース)

新潟医療福祉
大学
新潟薬科大学

● 訪問医療指導、訪問リハビリなど在宅医療に関わる分野も経験し、地域に寄り添い支える医療を学ぶ(プライマリコース)

新潟県地域医師会

・医学教育・医師確保等の面で緊密に連携

新潟医療人育成センター
(シミュレーションセンター)

- シミュレーター実習(プライマリコース)
- 高齢者疾患、特に心臓呼吸器疾患に対応したシミュレーター教育(アドバンスドコース)

魚沼基幹病院
地域医療教育センター

- 二次医療圏内の病院群を形成して総合診療専門医の育成プログラムを開発(アドバンスドコース)
- 超高齢地域における診療従事(アドバンスドコース)

『次世代医療人』の養成

予防的視点・機能回復そしてリサーチマインドを兼ね備え、「健康長寿社会の実現」に寄与する総合診療専門医

新潟県の地域的メリット

- 多様な地勢
豪雪地・離島・平野部・山間地から都市部まで広がる多様なフィールド
- 明日の日本を映す鏡
高齢化率40%!! 超高齢化を20年先取りする中山間地
これから高齢化する都市部など多様な人口分布

超高齢社会の課題

- 高齢者疾患の増加 とくに誤嚥性肺炎や生活不活発病など
- 変容する高齢化社会の状況把握や分析の不足
- 厚労省「健康日本21」でも取り上げられているソーシャルキャピタルなどの社会指標と地域の健康水準との関連は未知数
- 「治す医療」から、「生活に寄り添い支える医療」へのニーズの拡がり

医学研究実習

(平成26年9月～11月)

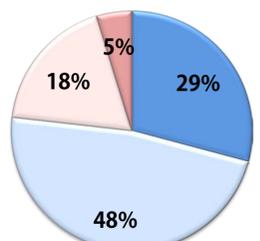
平成25年度に引き続き、新潟大学医学部医学科4年生4名が、新潟県魚沼市の豪雪中山間地域に赴いて、各戸訪問によるアンケート調査を実施。65歳以上の高齢者168名より回答を得た(回答率53%)。



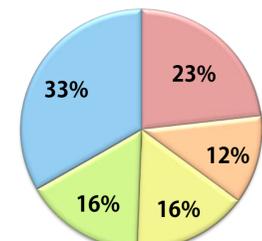
● 調査結果と解析

① 地区全体の集計

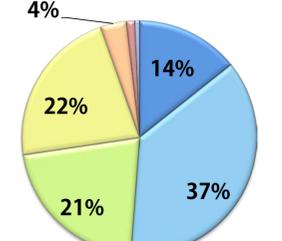
問1-1 現在のあなたの健康状態はいかがですか



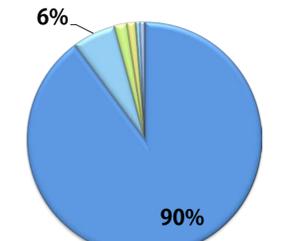
問1-5 現在ご自身の歯は何本残っていますか



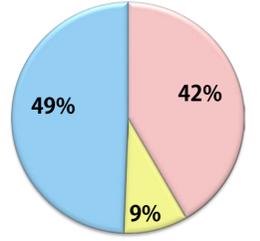
問2-4 肉や魚をどのくらいの頻度で食べていますか



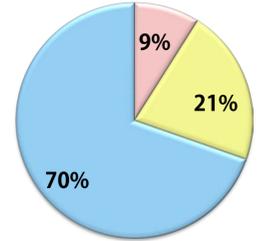
問2-5 野菜や果物をどのくらいの頻度で食べていますか



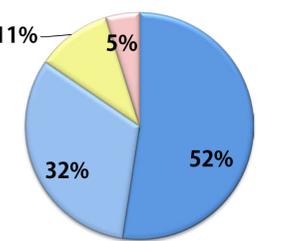
問2-6 お酒を飲みますか



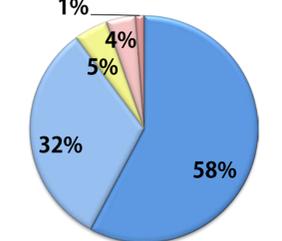
問2-7 タバコは吸いますか



問9-1. あなたの地域の人々は、一般的に信用できると思いますか

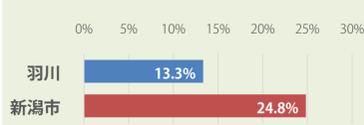


問9-3. あなたは現在住んでいる地域にどの程度愛着がありますか

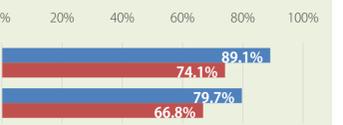


② 新潟市との比較

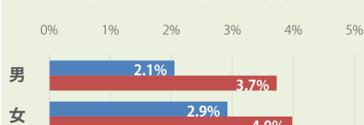
BMI25以上の割合 (男性)



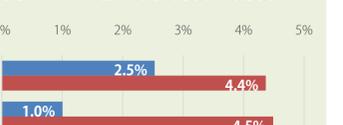
地域の人々を信頼している者の割合



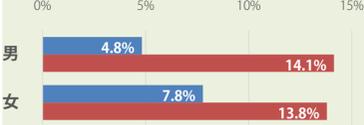
閉じこもり者の割合



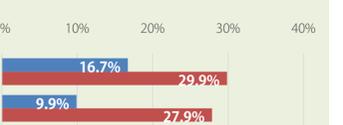
肉魚喫食週1回未満者の割合



口腔機能低下者の割合



歩行30分未満者の割合

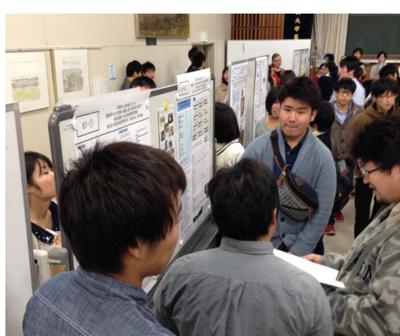
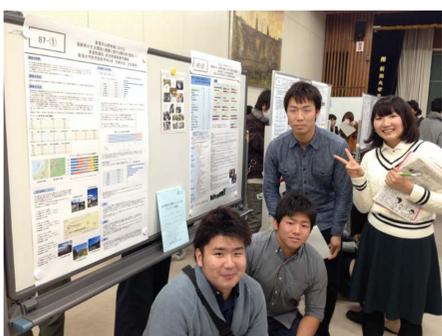


■ 羽川地区 (回答数: 男性77人、女性91人)
■ 新潟市 (回答数: 男性2195人、女性2575人)

新潟市については、JAGES (日本老年学的評価研究) 2013調査の結果を用いた。

調査地区では、新潟市(都市部)と比較して、肉や魚をよく食べる人が多く、口腔機能が保たれている人が多い。歩行時間は多く、閉じこもりも少ない。また、地域の人々をよりよく信頼している。

● 成果発表と報告



学内の発表会にて、調査の成果を報告

調査結果をもとに他の学生や教員とディスカッションし、リサーチマインドを深めた

学生が主体となり、調査地区の住民に対して結果報告会を開催

調査結果を行政関係者にフィードバックし、市の介護予防・健康づくり政策に活用

トータルヘルスケアワークショップ & フィールドワーク

(第1回：平成26年3月17～19日、第2回：平成26年8月27～29日)

超高齢社会・口腔ケア・多職種連携をテーマとしたワークショップと体験実習

県内の医療系（医・歯・薬・保健）学生延べ27名が参加

1日目

- ・ KJ法を用いて超高齢社会の問題点を抽出
- ・ フィールドワークの一般目標、行動目標を作成



2日目

- ・ 実際に口腔ケア・多職種連携を実践している医療現場で体験実習！



3日目

- ・ フィールドワークでの体験をもとに超高齢社会への対応策を検討



参加者へのアンケートより

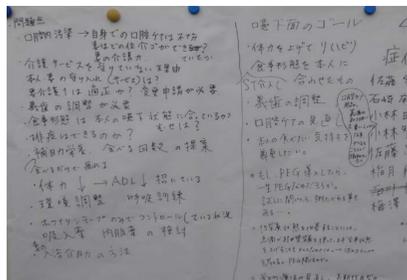
- ・ 口腔ケアの重要性、誤嚥性肺炎予防における有用性
- ・ 多職種連携の重要性
- ・ ソーシャルキャピタルの理解

⇒ より深めることができた

第1回呼吸ケア研修会

(平成26年11月16日)

県内の医療機関の医師、看護師、薬剤師、リハビリ療法士等実際に呼吸ケアの現場に関わっている医療関係者・学生など96名が参加



誤嚥性肺炎の臨床、嚥下リハの実際に関する講義、模擬患者に対する口腔ケアの実演

グループに分かれて事例検討ワークショップ、プレゼンテーション

新潟のソーシャルキャピタルを考える会2015

(平成27年1月24日)

県内の医療機関の医療関係者・学生、自治体で医療福祉行政に関わっている関係者など62名が参加



医学研究実習に参加した学生のプレゼンテーション

千葉大学予防医学センター・近藤克則教授による、ソーシャルキャピタルに関する基調講演

今後の展開

・ 「医学研究実習」は、その成果について、住民説明会以外にも各自治体の行政や住民へどのように還元し拡大させていくかが課題である。同じ魚沼医療圏において行われている「魚沼コホートスタディ」との連携体制を整備していく予定である。

・ 新潟県の十日町市および阿賀町において、すべての高齢者を対象としたアンケート調査を行うことになっている。新潟県の豪雪中山間地域における大規模な情報が蓄積され、地域特有な健康増進に関わる因子等についての詳細な検討が可能になる。

⇒ アドバンスドコースにおける社会人大学院生が関わることを想定しており、将来総合診療を志向する初期・後期研修医のリサーチマインド醸成に寄与できる。

・ 「トータルヘルスケアワークショップ&フィールドワーク」は、そのフィールドや対象を拡大しつつ継続する予定である。

・ 「呼吸ケア研修会」は、さらに内容を充実させて今後も開催する予定である。

・ 平成27年6月に開院する魚沼基幹病院は、医療人育成のための実習や研修を使命の一つとする病院である。現在は、開院に向けて診療体制の構築、基幹型研修病院としての整備が進められている。今後、それらを踏まえながら実習体制の構築、周辺医療機関との連携を進めながら総合診療医養成のためのプログラム構築を目指していく。



魚沼基幹病院
(平成27年6月開院)